祝福された家族の逸　（ 半）：　言者ヨハネ

5.0

明: 言者ヨハネの性格、使命、そして彼の家族であるイムラ ン家による相互扶助について。

目: 事イスラ ムの信条　言者の物

より: ア イシャ ステイスィ

日 03 Sep 2012

集日 10 Sep 2012

イエス、マリア、ザカリアとその息子ヨハネは皆、ダビデの末裔であるイムラ ン家という同じ名家の一 でした。神の言 であるクルア ンによると、彼らは　で、神へ真に 依して崇 していたことが分かります。

“??????????????????????????????????… ??????????????????”??????6?85?

“…??”??????38?17?

“??”??????66?12?

キリスト教徒たちの では、ヨハネは「洗礼者」として知られます。しかし、クルア ンと 言者ムハンマドの言行 は、どちらもヨハネを洗礼者として言及していません。ヨハネの使命とは、イスラエルの民に して神との契 を思い起こさせるものだったのです。彼は他のすべての 言者たちと同じこと、つまり完全なる 依をもって唯一なる神への崇

を命じたのです。

奇 の子

言者ザカリアにとって、子を授かるすべての希望がなくなった老 において、神は彼とその妻に奇 の子を授けました。その男の子は、世界で初めてヨハネと名付けられました。神ご自身がその命名を行ったのです。

“??”??????3?39?

私たちはクルア ンから、 言者ヨハネが幼い から英知を授かっていたことを知ります。また 数の典 から、彼が外で 物たちと ぶのを好む、静かでおっとりした勉 好きな子だったことが分かっています[1]
。ヨハネは敬虔で知的な青年に育ちました。彼は荒野、あるいは砂漠の中で 素な生活をし、神への礼 と唱念に勤しんだと えられています。彼は周 の人々だけでなく、全人に して思いやりと慈悲に溢れた心を持っていました。イスラ ム学者たちは、ヨハネは神への畏敬の念、そして 情によって し、その は彼の に が残るほどだったとしています。

ヨハネとイエス

ヨハネは神によって不屈の精神と力が与えられており、自らの世俗的欲求を抑制することが出来ました。彼は人々に し、ト ラ の法に立ち返るよう不断の呼びかけをし、 兄弟であるイエスの使命を支持しました。ヨハネの使命の一部には、イエスの教えを信じ、支持することが含まれていました。
“…アッラ の御言 の 者となり…” （クルア ン3：39）
ヨハネは 兄弟であるイエスのことを「神の魂」として言及し、奇 的 造としての 言者イエスの存在を したのです。

言者ムハンマドにまつわる真正の言行 （アフマド、ティルミズィ など）においては、言者ヨハネとイエスがイスラエルの民を再び正道に くという彼ら共通の使命について

、　をする逸 があります。 言者ムハンマドによると、 言者ヨハネはイスラエルの民を一同に集め、彼らが神の戒律に うよう　したとされます。それはつまり、唯一なる神以外には何者をも崇 せず、礼 と 戒をし、喜 を施し、神への唱念に　を やすというものです。

神は 言者ヨハネに し、特 な祝福を授けました。
“かれの生 の日、死去の日、 活の日に（再び）、かれの上に平安あれ。”
（クルアーン19：15）平安、安 、安心、 足感は、人 に して与えられる最大の祝福です。
それは、神によって与えられた きに うことの 果であることは明らかです。

クルア ンと 言者ムハンマドの真正の言行 は、ヨハネの死の　については言及していません。しかしながら、彼はト ラ において 示された神の法に毅然として ったことから、虐待や迫害を受けており、それが死につながったことが分かっています。ヨハネの人生は葛藤と努力に ちたものでしたが、彼は神の教え（神のみを崇 すること）にしっかりと い、その信条を いて死んだのです。

イムラ ン家は人 にとって、暗 を照らす明かりでした。彼らの献身は比 なきもので、彼らの相互扶助は私たちにとっての模 です。　は子供たちの 世での喜びではなく、来世の行方に をもみ、子供たちはそれぞれが神に命じられたよう　や年 者に尽くし、敬意を示し、思いやりをもって接します。この祝福された家族は、真の献身をもって神を崇 し、神の法を最 先したのです。神はこう述べます。

“???”??????4?173?

マリアは敬虔な女性で、イエスは神の言 、そしてヨハネは高慢や不　な者ではなく、ザカリアは主を えました。 言者ダビデの子 である彼らは、祝福されたイムラ ン家の一 で、彼らは人の人生における模 的存在だったのです。彼らが努力したように私たちも努力し、彼らが信仰したように 信をもって信仰し、彼らが神に服 したように私たちも完全な服 をするのであれば、 判の日、私たちも神の 大さによって　な者として数えられることでしょう。

Footnotes:

1 イブン カスィ ル。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/1471

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。